

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全	25年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 工事課長 施設工事担当課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上	成果	コスト			
事務事業名	堀川口防潮水門の地震・津波対策	継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7937 施設事務所、港湾工事事務所
目的	対象(誰・何を)	堀川口防潮水門			事業 期間	平成25~33年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上します。				
概要	堀川口防潮水門の地震・津波対策として、門扉の補強工事や、既設の躯体について、耐震補強工事を行います。				根拠 法令等	
事業着手時点の 評価	補強対策を行うことにより、住民及び企業の生命・財産を守ります。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
26年度の実施予定	門扉補強工事及び躯体補強設計を行う予定です。				関連 シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	門扉補強工事(排水水門、通航水門)及び躯体補強設計を完了しました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計(25年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円		80,600	135,785	216,385	
人件費	千円		6,132	3,788	9,920	
合計	千円		86,732	139,573	226,305	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
既設躯体への耐震補強 工事完了までの進捗状況 (全4工程)	目標		-	2	3(累計)		既存の躯体への耐震補強工事の進捗状況 ①耐震性の検証②設計③工事着手④工事完了	
	実績		1	2				
(進行管理型)	事業進捗状況(26年度)			順調 やや遅れ・遅れ				
指標名		24年度	25年度	26年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
門扉補強工事の事業 進捗率(%)	目標		-	100.0	100(累計)		事業進捗率(目標・実績)は、出来高割合です。	
	実績		40.0	100.0				
(進行管理型)	事業進捗状況(26年度)			順調 やや遅れ・遅れ				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	門扉補強工事は目標通り、完了しました。また、既設躯体への耐震補強工事についても、設計を完了し、順調に進捗しております。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?	○ 地震・津波対策は、背後地域の生命・財産を守るため必要な事業であり、防災上のニーズも高いと考えております。						
	事業費規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 耐震補強を行い、地震・津波に対する安全性を向上することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献すると考えております。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 門扉については補強が完了したことにより、津波に対する安全性が向上しました。						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 必要最小限のコストにて取り組んでおります。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	・港の安全性の向上に必要な不可欠の事業であり、継続的に事業を進めていく必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			27年度以降の取組
背後地の安全性の向上には必要不可欠な事業であり、継続的に事業を進めていく必要があります。			引き続き、既設の躯体への耐震補強工事を継続的に進めていきます。